

事業区分	地域主導型自然エネルギー創出支援事業
事業主体 (連絡先)	中川村 中川村役場振興課耕地林務係 電話：0265-88-3001
エネルギー 種別	木質バイオマス
内容区分	ソフト事業（実施設計）
総事業費	3,797,280円（うち補助金額：1,898,000円）

事業内容

平成 29 年度に村内において木の駅事業がスタートした。村内の森林資源を有効活用し、地域内で消費を行う事で、地域内資源の有効活用を図ろうとしている。

この村内消費の手段として望岳荘の温浴施設へ木質バイオマスボイラーを導入する。今年度は実施設計を行い、木質バイオマスボイラー導入の前進を図る。



【温浴施設望岳荘と設置予定箇所】

事業効果

村内の森林において搬出から活用、消費までの循環する仕組みが確立し、村内完結型の森林資源の有効活用が図れる。具体的には活用の対価として地域通貨の導入により、搬出から活用まで村内での自立したエネルギー循環がスタートする。温浴施設においては、木質バイオマスボイラーの導入により、施設の魅力が加わることと併せて、化石燃料に頼らない地域のエネルギー消費によりコストの削減が進む。

自己評価（事業実施率）【A】

【目標・ねらい】

- 村内温浴施設の木質バイオマスエネルギー導入設計
- 地域内の資源循環による地域内で完結したエネルギー需給
- 森林資源活用の村民意識向上

今後の取組み

平成 31 年度には望岳荘へ木質バイオマスボイラーの設置を行う。熱源となる薪材については、木の駅実行委員会にて村内から集材を行っており、現在年間使用予定量の 1 / 2 程度が集まっている。今後は安定的に木材の集材を行うため、住民へ木の駅事業の啓発を行い、森林整備への関心を高める。木の駅にて発行される地域通貨（里山券）については、住民の理解が進むようなイベントなどの開催により周知と利用の向上を図る。

自己評価（目標達成率）【B】

注) 自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。